



小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会医療法人葦の会	代表者	仲宗根 哲也	法人・事業所の特徴	同法人内に居宅介護支援事業所、地域包括支援センター、訪問看護ステーション、通所介護（パワーリハビリ）グループホームがあり、常に利用者にとって必要なサービス、ケアを提供できる体制を準備しています。同法人の訪問診療所 シャロンクリニックのDrとの連携も密になり、在宅での看取りも今まで以上に充実することができました。
事業所名	小規模多機能型居宅介護ノア	管理者	大田千登勢		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	1人	人	人	1人	人	14人	人	15人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	新規利用者の気づいた点を、新規利用者情報シートに記入するようにし、フェイスシートに記載されていない情報を記入する。その際、記入した職員の名前も表示。2週間経過ミーティング（終礼）を行い、月に1度の全体ミーティングでは、支援方法や内容の確認を行い、より良いケアに繋がっていく。	月1回のミーティングでは、記入した情報を話し合い、職員間で共有しケアに繋がっている。2週間経過後の終礼での話し合いは、忘れていた事もあった。	<ul style="list-style-type: none"> 利用者情報シートへの記入を元に、ケアへの共有に繋がったのではないかとと思う。 利用初日に、経過支援等へ記録を行い、月1回のミーティングを待たずにその方の様子を共有できるようにしてはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> 法人内の研修以外に、事業所内での実技研修を取り入れていく。 オムツの充て方 お互い負担にならない移乗の仕方 レク活動の内容（体操に関すること）
B. 事業所のしつらえ・環境	屋上菜園を利用者の活動の場の一つにして、季節の花・野菜を植え、眺めて過ごしたり、収穫して楽しめるように取り組んでいく。環境の変化に伴い、WEB会議が行えるように環境整備を行う。	プランターに花の種を植えたが、台風等の影響で花を咲かす事が出来なかった。屋上を利用して花の鑑賞、日光浴をしておやつ会を行う事が出来た。	<ul style="list-style-type: none"> 屋上菜園が利用者の活動の場になるのは、とても良いことだと思います。 利用者と一緒に花を植えたり、手入れを行う事で、本人の活躍する場を提供できないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 屋上菜園での手入れ（水かけ、雑草取りなど）利用者と一緒に出来るようにする。
C. 事業所と地域のかかわり	新規作成したパンフレットを、自治会事務所や公民館、または地域のお店に設置してもらい、事業所の紹介になるように、配布していく。	地域のスーパーにチラシを貼ってもらい、自治会事務所、公民館、法人内外の事業所にパンフレットを設置してもらった。パンフレットを持って、相談に来られる方も見られた。	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍で、地域交流室は利用できない状況のため、地域との交流は減っていたと思いますが、地域の相談の場にはなっていたと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> 感染状況も見ながら、地域の方のサークルの場を提供できるようにチラシの配布を再開する。 まちづくり協議会への参加 地域の保育園、学校等との交流が出来るようにする。

<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<p>感染状況を確認しながら、おやつ の買い出しを利用者の方も一緒 に行けるようにする。 オレンジカフェへの参加を、感染 対策を行いながら、参加が出来る ように努める。ネット環境の整備 に取り組む。</p>	<p>オレンジカフェが開催された時 は、感染対策をして参加が出来 た。お店のように不特定多数の方 が出入りする場所へ行くことを 避けたこともあり、買い出しに は、ほとんど行けていない。</p>	<p>・コロナ禍で、中々外に出ることが 出来なかったが、少人数で感染対策 を行いながら、定期的にドライブに 出かけることも良いのではないか。 また、運動も兼ねて近くに散歩をす ることも良いと思う。</p>	<p>・年間行事の中で、外出が必要な 行事に関して、有事にて実施でき ない場合は、代替の行事へ臨機応 変に対応していく。 ・利用者の「以前の暮らし」をヒ ントに本人のなじみある場所へ、 ドライブなり行けるようにする。</p>
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<p>コロナ禍で生活様式への変化に伴い、WEB会議・研修も視野に入れ、ネット環境の整備を行う。</p>	<p>研修への積極的な参加を勧める 為、WEB研修用としてパソコン を購入し活用している。運営推進 会議への活用も考えていたが、発 信する側の整備がうまく進まな かった。</p>	<p>・コロナ禍のため、運営推進会議 への参加が出来なかったが、議事 録にて活動状況等を共有できた と思います。</p>	<p>・管理者、ケアマネ以外の職員も、 交換で参加できるようにする。 ・ネット環境（zoom）の設定を行 い、オンラインでも会議を行え るように整備する。</p>
<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<p>防災・災害への地域での訓練に積 極的に参加する。 災害等に必要な物品の確認を行 い、備える。</p>	<p>コロナ禍で実践的な訓練はなか ったが、WEB研修への参加は出 来た。毎年行っていた事業所での 防災訓練は、事業所の職員のみで 年2回行った。備蓄品の点検を行 い、必要物品の購入を検討する。</p>	<p>・防災や災害は、いつ起きるか予 測が難しいと思うが、必要最低限 の物品は、揃えておくべきではな いだろうか。</p>	<p>・地域での防災、災害訓練へ積極 的に参加する。 ・備蓄品の確保、点検を定期的 に行い、備える。</p>